

# サングチュアリ 竹灯り

毎年9月いなべ市藤原町の  
フィッシングサングチュアリで開催される  
「サングチュアリ竹灯り」。

約2万本の竹細工に灯るろうそくが  
幻想的な風景を織りなし、見る人の郷愁を誘います。

## 11年続く秋の行事 今年は「ふるさとの秋」

マス釣りができるスポットとして県内外から利用客が訪れる、フィッシングサングチュアリ。いなべ市藤原町で生まれ育ったオーナーの株式会社岡興産・岡巖社長は、「ふるさとに人が集まる場をつくりたかった」と開設のきっかけを話します。

シーズンを迎える10月に先駆けて開催されるのが「サングチュアリ竹灯り」。その年々のテーマに合わせた竹灯りが会場を彩り、毎年約3000人が訪れます。

竹灯りは今年で11回目。「旅先で見た竹灯りに感動したのがきっかけです」と岡社長。1年目は2、3000本の竹細工に入れたろうそくを山の斜面に飾りました。「見学にきた女性が『こんな情景は初めて見た』と、感動しながら話しているのを見て、続けようと思った」

10年目を迎えた昨年、節目を機に止めようと考えていましたが、数カ月前から「楽しみにしている」と、嬉しい問い合わせが殺到。「毎年たくさんの方が見に来てくれることを考えると、簡単には止められない」と、岡社長は今年の開

催を決意しました。

毎年、岡社長が旅先で見た風景や聴いた音楽から得たインスピレーションをもとにテーマを決定。11回目を迎える今年のテーマは「ふるさとの秋」。「藤原町の秋といえば彼岸花。咲き始めると空が澄み、このまちに秋の風が吹きはじめるのです」とほほ笑みます。

## 当日まで全力を尽くし ほとんど一人で制作

期間中は、ろうそくの光が優しく会場を照らします。池の周囲や山の斜面、駐車場など敷地全体に約2万本を設置。その半数を毎年

の設計図はありません。社員たちがサポートするものの大半は自らで陳列。立体感や奥行きを表現しながら、約20日間かけて並べます。

イベントは雨天決行。当日の天候によつては、思ったとおりの美しさや景色が表現できないことも。直近の2年間は天候に恵まれず、悔しい思いをしました。「どんな結果になったとしても、ろうそくに火を灯す前までの過程全てに意味があると思い、精一杯準備しています」と話します。

## 暗闇の中で浮かぶ灯りの 温かみや揺れが情緒を誘う

イベント当日は、16時半頃から点灯ボランティアが集まり始めま

1. ろうそくの灯りそのものだけでなく、灯りが笹竹や周囲の自然に反射する様子も含め、会場全体が舞台に 2. ライブイベントでは、屋外ステージならではの音の響きを感じられます。初日には、地元の鳴谷山聖寶寺が経を唱え、魚の供養を執り行います 3. 隣接するツリーハウスでのお化け屋敷や飲食物の販売などの楽しみもあります 4. 制作途中の竹細工。4色の彩色のほか、竹を切る長さ、角度も工夫しています

毎年訪れる人も多く、散策したり音楽に聞き入ったりと思いの通りの過ごし方をして楽しめます。岡社長も会場を回って反応を伺います。「自分が追いかけて続いているきれいなものを感じたままに表現していきたい。つくるまではいろいろと考えますが、見てもらう人にあれこれ説明したりしません。見てもらって自分の心意気を示すだけです」とにこり。今年は見た人が自分のふるさとをそつと思ひ出す、そんな温かい風景が見られそうです。

## Information

### ○点灯式ボランティア募集!

対象／小学生以上  
(小学生以下は保護者同伴)  
集合時間／16:30  
持ち物／柄の長いライター  
当日は、注意事項や火の付け方を説明した後、順に点灯作業を行います。足場が悪いところは大人が点灯するなど、安全面に配慮します。

### ○サングチュアリ竹灯り

9月22日(土)・9月23日(日)  
開催時間／17:30～21:00(入場無料)  
会場／フィッシングサングチュアリ  
住所／いなべ市藤原町山口1872  
電話／0594-46-8820  
URL／<http://go-sanctuary.com>  
駐車場／50台(無料)



フィッシングサングチュアリには4つの池があり、初心者から上級者まで釣りを楽しめます



併設されるカフェは、釣り客以外も利用可能。こだわりのメニューが提供され、地域の憩いの場となっています